部活地域移行 53市町村に

中学、来年度までに

16市町村 着手時期未定

中学校の部活動の運営を地域の民間団体などが担う「地域移行（地域展開）」について、県内全市町村の約7割にあたる53市町村で来年度までに開始予定であることが、県教育委員会のまとめでわかった。2026年度を目標とする休日の部活動の完全移行に向け、県教委は市町村に対して体制整備や指導者確保などを支援する。

（岡本拓真、田中文香）

子どもたちに指導する長野北部野球クラブの塚尾監督（左）（11月24日、長野市で）

県教委の調査によると、教育委員会や学校関係者、地域のスポーツ・文化芸術団体などが参加して移行に向けた議論を進める協議会が設置されていたり、今後設置の予定があったりするのは、今年8月時点で77市町村中69市町村だった。

このうち、一部の部活動だけでも移行が開始できていると回答したのは26市町村。また今年度中に開始するとしたのが22市町村で、25年度中に着手予定としたのは5市町村だった。残る16市町村は着手時期を未定とした。

長野市では、23公立中学に179ある運動部のうち3割弱で移行を完了し、3割強が移行を検討している（昨年10月時点）。

市立北部中学の軟式野球部は24年度から、週末を含めた週4日間、長野北部野球クラブに完全移行した。普段の練習は同中学のグラウンドなどで行っている。

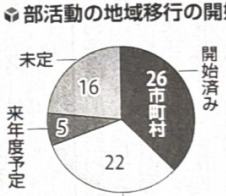
クラブの監督で、公立中教員の塚尾誠貴さん(39)によると、クラブ化で学校や地域の垣根を越えた合同練習や遠征が増えたり、指導者の資格を持つ保護者らもコーチとして加わってくれるようになったりしたという。塚尾さんは「教員の負担が減った一方、活動量や指導の質は上がりました」と話す。

国が来年度末までを「改革推進期間」と位置付け、休日については可能な限り早く地域移行の実現を目指すよう各自治体に求めている。県教委は運動部・文化部を問わず、26年度末までに休日については地域移行を完了させ、平日についてはできるところから移行を目指すことにしている。

移行が実現すれば、活動種目の選択肢が増え、教員の負担軽減にもつながるが、現状では受け皿となる運営団体のめどが立たなかったり、財源や指導者確保が見通せなかったりと課題も山積している。

県や県教委は今後、地域移行の前提となる協議会の設置を促進して動き出しの遅い市町村を重点的に支援するほか、企業連携を通じた財源確保支援策の検討などに取り組む。県教委の担当者は「長野県は市町村数が多い上に中山間地域も抱え、地理的な難しさもある。地域主体で取り組んでもらうため、地域の要望に応じて幅広く支援をしたい」と話している。

部活動の地域移行の開始時期



※県教委の調査に基づく。協議会設置が未定の8市町村を除く69市町村が対象

クラブと指導者 マッチング

県教委が登録サイト

県内の公立中学校での部活動の地域移行を進めようと、県教委は、指導者や協力者を募集し、市町村や地域クラブなどとマッチングする登録サイト「信州地域クラブ活動指導者リスト」を開設した。

登録は18歳以上で、指導者資格や指導歴がなくても登録が可能。これまでに体罰で指導者として不適格と認められたことがないなどの要件がある。指導を希望する人は、指導が可能な種目や対象年齢、レベル、活動が可能な地域や曜日など必要な情報を登録する。

県教委は登録された種目、年代、性別、居住エリア、指導可能エリアの範囲で、市町村や地域クラブに情報を公開する。市町村や地域クラブは、指導や協力をしたい人がいる場合に詳細な情報を照会。市町村や地域クラブが直接面接などをした上で採用を決める。

指導者、協力者は、県教委によるハラスメント防止やスポーツ医科学などを学べるオンラインの研修を受講できる。報酬額や交通費は運営団体や実施主体の規定による。武田育夫教育長は、「中学生のスポーツ、文化芸術活動を持続可能なものとするため、多くの方に登録への協力をお願いしたい」と話している。

生坂村 議員報酬見直し

来年4月から 一律21万5000円に

生坂村議会（定数8）は12月定例会最終日の17日、55歳以下の議員に限り18万円から30万円に引き上げた現行の月額報酬を、一律21万5000円に変更する条例改正案を賛成多数で可決した。来年4月の村議選から適用する。

藤沢泰彦村長から諮問を受けた村特別職報酬等審議会が一律21万5000円への見直しを答申していた。

役職の加算を含めると、議長は30万2000円（現行26万7000円）、副議長は23万5000円（同20万円）などとなる。

村議会は2005年から17年の村議選で4回連続無投票となった。17年は定数割れが生じ、20年に55歳以下の月額報酬を引き上げた。21年の村議選は選挙戦となり、55歳以下は3人が当選した。ただ、若手議員の不祥事などもあり、村民へのアンケートでは見直しを求める声が半数を上回った。

千曲で強盗致傷

男が逃走

16日午後6時45分頃、千曲市杭瀬下の中古品販売店「ゲオ更埴店」で、男が販売中のスマートフォンを万引きし、居合わせた男性客を殴り逃走した。千曲署は強盗致傷事件として男の行方を追っている。

発表によると、男はレジカウンターに置かれていたスマートフォン2台（計約33万6000円）を盗んで店外の駐車場へ逃走。女性従業員が男性客(34)に助けを求めたところ、男と客がもみ合いになった。男は客の顔面を殴るなどの暴行を加え、スマホ2台をとらずに逃げたという。客は唇を切り全治2週間のけがを負った。

男は20～30歳代で、身長1メートル65～70程度。黒のジャンパーとズボンを着用していたという。

現場から逃走したとみられる人物（県警提供）

小布施町長選 新人一騎打ち

20年ぶり選挙戦

小布施町長選は17日告示された。前町議の小林一広氏(66)と前町企画財政課長の大宮透氏(36)の新人2人が、いずれも無所属で立候補を届け出て、2004年以来、20年ぶりの選挙戦に突入した。投開票は22日。

小林氏は、「理想が実現しないまま停滞している現状を変え、生き生きとした小布施町を創造していく」と主張。外部招請に頼った行政運営の見直しや、豊かな農村景観や町内に点在するオープンガーデンや美術館などを活用したまちづくり、子育て支援や高齢者福祉の充実などを掲げる。

大宮氏は、政策コンサルタントなどとして全国のまちづくりに関わった経験と人脈を強調。農産物の販路拡大やブランド化、農家民泊の推進による「まちじゅうホテル構想」の実現などを掲げ、「農業農村、子育て家族、高齢者をしっかり支えるまちづくりを進める」と訴える。

16日現在の選挙人名簿登録者数は9196人。

立候補者（届け出順）

小林　一広（こばやし　かずひろ）66無新
農業元町会議長、町商工会監事▷県農業大学校▷小布施町

大宮　透（おおみや　とおる）36無新
元町企画財政課長、町総務課長▷東大院▷群馬県

年齢は投票日現在。略歴は、現職元経歴（前職を含む）▷学歴▷出身地の順

長野

長野支局
〒380-0821 長野市上千歳町1159
電話026-234-4311 Fax 234-4341
メール nagano@yomiuri.com

松本支局
〒390-0874 松本市大手3-5-20
電話 0263-32-3490

諏訪支局
電話 0266-52-0987

上田通信部 0268-22-0057
飯田通信部 0265-22-0896
佐久通信部 0267-67-7223
塩尻通信部 0263-54-4711

ホームページ
www.yomiuri.co.jp/local/

購読は 0120-4343-81

読売会237-8855
ながのセンター 226-3230
北長野296-4054 長野東部247-8398
松代 278-8633
南長野284-6991 篠ノ井299-9103
中野中央 26-1585
須坂小布施 245-0290
更埴 273-5953 上田中央 25-1639
上田北部276-7106 上田西部 38-7227
真田 25-1639 丸子 42-2223
小諸 41-6355 望月 62-2330
浅科 62-2330 岩村田 67-2135
野沢中込 62-2330
南佐久 82-9536 御代田 32-1171
軽井沢 44-3088
【広告】読売信州広告社237-7788
【折込広告】長野1S 251-0841
【読売旅行長野】 233-6500

あすの暦

12月19日（木曜日）
旧 11月19日＜大安＞
月齢17.9（正午）

長野		松本
6.55	日出	6.54
16.34	日入	16.36
20.30	月出	20.32
10.07	月入	10.07

＝東京＝
満潮 7.59 / 18.28
干潮 1.08 / 13.17（中潮）